

目 次

第1部 環境行政の課題と展開

第1節 環境行政を取り巻く課題	1
1 有害化学物質による環境汚染の防止	1
2 廃棄物・リサイクル対策の推進	3
3 地球環境問題への積極的な取組み	3
4 自然とのふれあいの確保	4
5 環境にやさしい社会経済システムへの転換	5
第2節 本県の環境行政の展開	7
1 環境基本条例	7
2 環境基本計画	7
3 環境政策推進会議	8
4 環境影響評価条例	9
5 廃棄物の減量化とリサイクルの推進	10
6 県における環境負荷低減に向けた取組み	10

第2部 環境の現況

概 況	13
第1節 自然条件	13
1 位置	13
2 地形	13
3 気候	13
第2節 社会条件	14
1 人口	14
2 経済	14
3 土地利用	14
第1章 大気環境	16
1 大気汚染の概況	16
2 大気汚染物質別の状況	16
第2章 水環境	21
1 公共用水域の水質汚濁の概況	21
2 環境基準等項目別の現況	22
3 水域別の現況	23
第3章 土壌・地盤環境	27
第1節 地下水汚染	27
1 地下水の特性	27
2 県内の汚染状況	27

3	地下水質調査結果	27
第2節	地盤沈下	28
1	地盤沈下の概況	28
2	水準測量による地盤沈下の変動状況	29
3	観測井による地下水位および地盤沈下の変動状況	29
第3節	土壌汚染	30
第4章	騒音・振動・悪臭	31
第1節	騒音	31
第2節	振動	32
第3節	悪臭	32
第5章	廃棄物	33
第1節	一般廃棄物	33
1	ごみの排出量	33
2	ごみの処理状況	34
3	リサイクルの状況	34
4	廃棄物処理施設の状況	35
5	焼却施設からのダイオキシンの排出状況	35
第2節	産業廃棄物	36
1	県内発生状況	36
2	処理処分状況	38
3	広域移動状況	39
4	産業廃棄物処理業の状況	40
5	産業廃棄物処理施設の状況	40
第6章	自然環境	42
第1節	自然環境保全地域	42
第2節	自然公園	42
第3節	野生鳥獣	43
第4節	ふるさとの環境	44
第7章	都市環境	47
第1節	下水道	47
第2節	都市公園	47
第3節	レクリエーションや自然とのふれあいの場	48
1	生活環境保全林整備事業・多目的保安林総合整備事業の概況	48
2	親水護岸の概況	48
第4節	景観	49
1	シンボルロード等の概況	49
2	風致地区の指定状況	49
3	名勝の指定状況	49
第5節	歴史的文化的環境	50
1	史跡・文化財の指定状況	50
2	重要伝統的建造物群等の指定状況	51

第8章 地球環境問題	52
第1節 地球の温暖化	52
1 二酸化炭素等の温室効果ガスの排出量	52
2 大気中の二酸化炭素濃度	54
第2節 オゾン層の破壊	54
第3節 酸性雨	55
第4節 エネルギー消費量	55
第9章 日本海重油流出事故の影響	57
1 水質の現況	57
2 海生生物の現況	57
第10章 環境に対する県民意識と保全活動	59
第1節 意識調査結果	59
第2節 公害苦情	61
第3節 県内企業等の環境保全に向けた動き	62

第3部 本県における環境施策の総合的・計画的推進

第1章 健康で文化的な生活を営むことができる環境の実現	68
第1節 大気環境の保全	68
1 大気汚染状況の監視	68
2 固定発生源対策	70
3 移動発生源対策	72
4 健康被害防止対策	73
第2節 水環境の保全	76
1 水質汚濁状況の監視等	76
2 産業系排水対策	76
3 生活系排水対策	79
4 公共下水道の整備	81
5 閉鎖性水域の水質保全対策	85
6 河川の水質浄化対策	87
7 水資源の維持	87
8 水質異常時対策	90
第3節 土壌・地盤環境の保全	91
1 安全な土壌の確保と地下水の保全	91
2 地盤環境の確保	93
第4節 有害化学物質対策	96
1 排出抑制対策	96
2 調査・研究の充実	97
第5節 騒音・振動・悪臭の防止	103
1 騒音・振動対策	103
2 悪臭対策	105

第6節	廃棄物・リサイクル対策	107
1	廃棄物の減量化・再資源化	107
2	廃棄物の適正処理	110
3	廃棄物の適正管理	112
第7節	災害時・緊急時における環境保全対策	113
第2章	自然と共に生きることができる環境の推進	115
第1節	生物の多様性の確保	115
第2節	多様な自然環境の保全と回復	118
1	貴重な自然の保全	118
2	森林資源の保全・整備	119
3	農村環境の保全	120
4	水辺環境の保全	120
第3節	自然とふれあえる場の確保	122
1	自然公園等の整備	122
2	森林や水辺等とのふれあい	123
第3章	快適な日常が実感できる環境の実現	126
第1節	潤いと安らぎのある環境の形成	126
1	ゆとりある空間の確保	126
2	緑豊かなまちづくり	127
第2節	良好な景観の形成	129
1	美しく親しみやすい景観の形成	129
2	環境美化意識の醸成	132
第3節	歴史的文化的環境の形成	133
第4節	土地利用の適正化	134
1	土地対策の概要	134
第4章	地球環境保全への貢献	138
第1節	地球環境問題への取組み	138
1	地球温暖化の防止	138
2	オゾン層の保護	141
3	酸性雨対策	142
4	その他の地球環境問題に対する取組み	143
第2節	国際環境協力	145
第3節	循環型社会づくり	146
1	リサイクルの促進	146
2	省資源・省エネルギー	146
3	県民運動の推進	147
第5章	環境の保全と創造をめざした参加型社会の基盤づくり	149
第1節	自主的な活動の推進	149
1	環境教育・学習の推進	149
2	自発的な活動の支援	154
3	環境情報の提供	156

第2節	環境配慮のための基盤づくり	158
1	規制的手法	158
2	環境影響評価	158
3	公害防止協定	163
4	経済的手法の活用	164
第3節	調査研究の推進	165
第6章	環境保全に向けた県自らの取組み	167
1	福井県環境保全率先実行計画	167